

2019年度 スクールソーシャルワーク全国実践研究集会 ～子どもの生きづらさに寄り添うスクールソーシャルワーカー～

学校教育法施行規則の一部を改正する省令において「スクールソーシャルワーカー」が明記され、「児童生徒の教育相談の充実について」の通知で具体的なスクールソーシャルワーカーの職務が示されています。

文部科学省では、子どもの貧困対策として、スクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた検討が行われています。また、厚生労働省では、地域共生社会の実現に向けて、学校と市区町村のつなぎ役としてスクールソーシャルワーカーの役割が期待されています。

各々の地域の実情においてスクールソーシャルワークが展開されていますが、専門職として子どもの権利の視点や職務の標準化などについて、実践事例を通して取り組むべき課題を明確にするため、「子どもの生きづらさに寄り添うスクールソーシャルワーカー」をテーマに「スクールソーシャルワーク全国実践研究集会」を開催します。

1. 開催日時：2019年9月28日(土)

2. 会場：かめありリリオホール(東京都葛飾区亀有 3-26-1)

●アクセス ⇒ JR 常磐線または東京メトロ千代田線「亀有駅」南口下車徒歩1分

3. プログラム(予定)：

時間	内容
10:20～10:30	オリエンテーション、開会挨拶
10:30～11:00 講演1 (30分)	【テーマ】「行政説明：スクールソーシャルワーカー活用事業(仮)」 【講師】文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室 廣石 孝 課長補佐
11:00～11:10	休憩 (10分)
11:10～12:40 基調講演 (90分)	【テーマ】「子どもの権利とスクールソーシャルワーカー」 【講師】堀 真一郎 氏 (学校法人きのくに子どもの村学園理事長)
12:40～13:30	昼食休憩(50分)
13:30～14:15 講演2 (45分)	【テーマ】「行政説明：児童虐待防止の現状と課題(仮)」 【講師】厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室 国松 弘平 室長補佐
14:15～14:30	休憩 (15分)
14:30～17:00 シンポジウム (150分)	【テーマ】「子どもの生きづらさに寄り添うスクールソーシャルワーカー」 【コーディネーター】 内田 宏明 氏 (日本社会事業大学准教授) 【シンポジスト】 「いじめ」清水 剛志 氏 (しみず社会福祉士事務所) 「貧困」後藤 久美 氏 (静岡市・富士市教育委員会 スクールソーシャルワーカー) 「虐待」後藤 みか 氏 (津久見市教育委員会 スクールソーシャルワーカー)
17:15～17:30	閉会挨拶

4. 参加対象：社会福祉士、教職員、教育行政、児童福祉関係者、スクールソーシャルワークに関心がある方等

5. 定員：200名(先着順)

6. 参加費：都道府県社会福祉士会の会員 8,000円 会員以外 10,000円(資料代を含む)

7. 申込方法：下記のQRコードまたは本会ホームページ (<http://www.jacsw.or.jp/ShogaiCenter/>) から、本研究集会の申込フォームにアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申し込みください。また、本会ホームページに掲載している申込書(word)を添付し、e-mailでお申し込みすることも可能です。ただし、メール本文への直接入力でのお申し込みはお受け付けいたしかねますので、ご了承ください。

インターネットが使用できない場合は、下記の問い合わせ先宛てにお問い合わせください。

◆本研究集会の申込はこちらから



8. **申込締切**：~~2019年7月31日(水)~~ (先着順) **※期間を延長して、申込受付中！**
9. **参加可否**：参加の可否は、8月末までに文書にて通知します。併せて、会場案内、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。
10. **研修単位**：全てのプログラムを修了することで、生涯研修制度の単位として、生涯研修制度独自の研修・実績の6時間分となります。
11. **その他**：昼食、宿泊、託児所等の用意はございません。必要に応じて、各自でご対応ください。
12. **主催**：(公社) 日本社会福祉士会
13. **問合せ先**：(公社) 日本社会福祉士会 生涯研修センター (営業時間：月～金曜日 9：30～17：30)
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F
[TEL:03-3355-6541](tel:03-3355-6541) e-mail : kenshu-center@jacsw.or.jp